

ヨシイちゃんのひとりごと



続ける事の大切さ

幼児の頃、育てて呉れたおばあちゃんに、

お前は、シッコイ子や」と、よく言われていた。自分が欲しいものが有ると、それを手に入れるまで毎日毎日 あれをこつて買って!」と。おねだり(要求)貫徹!するまで 権太を張ったから。三つ子の魂百迄」と言うから、八十歳を幾つか越えたが、今もその性格は治らない。それだけだなく、歳の所為か少し頑固?になり、周囲を困らせているらしい。

このとんからりんは1992年(平7)が1号で今号で二百号24歳。孫19才より年長)。当初は、編集と印刷は専門家にお願いをしていた。が、費用節約のために、何とか自分で作成しようとして、何となく自分で作成しようとして、とシヤープMZ80BのPCを購入。ベータシッタを勉強したり、苦しんだが、何とか、全て自社で作成することに。当初は苦労したが、近年は、パソコンのハードソフト、プリンター等々が、飛躍的に進歩し、そのお陰で、今のとんからりんの紙面になっている。配布



1995年(平7)5/1 創り「号」に
紙名「とんからりん」が20歳に
9年3月「とんからりん」が20歳に
平に改まりました。今号で20歳になりました。ご愛読感謝!

分はモノクロだが、入力カラー。当初カラー配布したが、インク代が高くてビツクリ仰天諦めた。ですから当社のホームページ検索サカタととんからりんではカラーで閲覧いただける。



これは言葉だけでなく、書く文も同様だろう。とは、思いながら、慌て者の上、思い込みが強い性格は治らず、後で悔やむこと再々。特に、近頃は前に書いたことを、と忘れ、一度書きが増えた。お優し読者からは何も指摘下さらないが、シンドランから自分で顔を赤くしている。でも、王ねん!。書かなければプレッシャーで、色々な事に興味を持つて見る癖が付いて、少々とも「予防防止」の役には立っていると思っている。

そして、お読みくださる友の会会員さんがいらっしゃる限り、二百号を目指そうと思っている。後100号は8年間を要する。只今82歳の編集者「私」は、90才になる。90は無理かと思わないでもないが、。艱を日々体操鍛え努力、頑張ろうぞ!。

※メール。ハカキ等で とんからりん「の感想やご意見をお寄せ下さい。締切5月20日 お礼奉進皇

珍しいこと 石動敏子

珍しいことだが、半日、特別な用がない窓をすべて開け放ち、不要なものを、ことごとく、と思つたが、割りばし一つが、なかなかか

いので居間の片づけに励んだ。窓という窓をすべて開け放ち、不要なものを、ことごとく、と思つたが、割りばし一つが、なかなかか

江戶時代には甘酒が夏バテ防止に最も重宝されていたといわれます。当時は天秤棒をかついで甘酒を売り歩く甘酒屋が夏の風物詩、季節にもなっています。夏場はどうしても体調を崩しやすい、食欲が低下し、疲れやすくなります。一段と食欲が低下し、疲れやすくなるという悪循環に落ち込みます。この悪循環のなれの果てが夏バテです。甘酒は日本文化の一つであり、栄養価に優れた飲み物です。甘酒はビタミンの塊、B1、B2、B6、バントテン酸、ビオチンなどが含まれていて大変

稲荷山 越智叢書 19



滋養が高く、日本が誇る発酵食品と言われている。京都伏見稲荷山にはこの甘酒だけで一年中店を開いている稀有な店があります。勿論、自家製です。稲荷山には十数軒の茶店があり、どの店のメニューにも、必ず甘酒はあります。数年前に歌い終えた曲だったが、二か月前、まさか、今回のこの大災害を予想したわけではなかった



早速、千数百人の同窓生に通信で、何らかの支援の呼びかけ、行つてともに歌う? が提案された。私たちがひとりひとりの、川の流れのような人生も終曲にさしかかっているなか、何ができるのか、心もとなないのだが。今年も山ユリの咲く頃、福島、宮城に、心あるひとたちと訪ねる予定だが、来年は、かつて、十年前に訪ねた、白秋の柳川再訪か。そこでこそ歌いたい曲があるからだが、果たしてそれまでに? いや、今度はどうな、天変地異が? と恐ろしく、心の震えが止まらない。写真は陸奥の風景



茶店ですが、20年程前までは旅館業を営んでいました。昔は全国から講を組んで稲荷参拜の客が来ていたのです。当時をしのばせる講札が今も表の間に掲げてあります。20人くらいの講の人たちが雑魚寝状態で宿泊していたそうです。小森さんのお母さんの代までの事ですが、当時は質素なものでしたが、講のみなさんは楽しく元気にやっておられましたよ」と奥さんは語っておられます。

京都&東山 ぶらりピカリ

68

七条通 誕生(28)

4月29日 和の目、日本最大級の

京都鉄道博物館が、既設の水族館の西側にオープンした。展示車両は蒸気機関車から新幹線まで53両、敷地面積は約3万平方メートルを誇る。5月西日本は初年度、120万~130万人の来館者を見込む。既存の梅小路蒸気機関車館を更に改良。有った扇形庫と転車台「写真」や、蒸気機関車から新幹線まで鉄道の歴史を学べ、時速300キロで国内初の営業運転をした新幹線「500系」や西日本で長く親しまれた寝台特急「月光」などが触れられる状態で展示されるそう。また蒸気機関車の乗車や保線用自転車の乗車など、体験する「事も出来るそう」。



私は高校時代「写真部」に属した。その頃、後に、鉄道写真家として著名な二歳年上の高橋弘さんと知り合いになる。氏の父



上は、大正天皇(大正)時出来た京都駅のシャッター。新設、京都鉄道博物館に展示有り。

上様は梅小路機関区の公式写真の撮影担当も務められるなどされたお方だ。彼のお供で、近畿の各地に「鉄道写真撮影」に行った。超早期で行く時に彼は車中で眠らないう。何故寝ないの?と尋ねると「家が1軒買える程高い程カメラが大事」と言った。彼のカメラは、お父上から与えられた「ライカC」シャッタースピードは千分の一秒。かめレ上の写真は、同氏の撮影の「つばめ燕号」私の写真機はウエルターペレル「シャッター」スピードが遅く、停車中しかブレて駄目だった。才能もなく「写真はやめた」特に印象に残っているのは、加古川から別府「ベコ」港まで走る「鉄道」の撮影時、出発前に「今日は京都弁禁止、先にそれを使った方が「昼飯代」を持つ約束をした。加古川で、道に迷い人の尋ねた。方向を教えられたので、「オオキニ」とお礼を言った。途端高橋さんが「酒谷君昼飯おおきに」と言った。が、先に言った者は私なので残念ながら昼飯代は私が負担した。



残年ながら2011・8・16にお亡くなりになった。高校生時代から長くお付き合い戴いたが、同氏が怒ったお顔もお声も見聞きしたことがない。今の京都鉄道博物館を一番喜んで戴ける人だっただけに辛い。

上様は梅小路機関区の公式写真の撮影担当も務められるなどされたお方だ。彼のお供で、近畿の各地に「鉄道写真撮影」に行った。超早期で行く時に彼は車中で眠らないう。何故寝ないの?と尋ねると「家が1軒買える程高い程カメラが大事」と言った。彼のカメラは、お父上から与えられた「ライカC」シャッタースピードは千分の一秒。かめレ上の写真は、同氏の撮影の「つばめ燕号」私の写真機はウエルターペレル「シャッター」スピードが遅く、停車中しかブレて駄目だった。才能もなく「写真はやめた」特に印象に残っているのは、加古川から別府「ベコ」港まで走る「鉄道」の撮影時、出発前に「今日は京都弁禁止、先にそれを使った方が「昼飯代」を持つ約束をした。加古川で、道に迷い人の尋ねた。方向を教えられたので、「オオキニ」とお礼を言った。途端高橋さんが「酒谷君昼飯おおきに」と言った。が、先に言った者は私なので残念ながら昼飯代は私が負担した。

市電が走った 京都を巡る

62

福田静二



大徳寺前 北大路通

千本北大路から北大路通を過ぎると、急な坂が続き、北大路通も平坦になります。しばらく行くと、北大路通の北側には土塀が続きます。臨濟宗大徳寺派の大本山、大徳寺です。

京都五山のひとつ、禅宗の寺院です。大徳寺は鎌倉時代末期に開創され、応仁の乱で建物は焼失しますが、

休和向が再建し、豊臣秀吉も諸大名も建物や寺領を寄附し、塔頭を創建して、江戸時代初期に現在の建物は整えられました。北大路通から見ると、寺域へ入るには小さな南門し



大徳寺の前を歩く市電

かなく、それほど広さを実感しませんが、南北に長い境内には、山門、仏殿、法堂、経蔵、方丈など主要な建物が残り、禅宗の典型的な伽藍配置を示しています。山門の一階は千利休によって増築され、利休の像を置いたことが秀吉の怒りを買っています。

また大徳寺には、一二もの塔頭があります。公開されている塔頭は、瑞宝院、大仙院などで、庭園や美術品など多くの文化財に触れることができます。非公開の塔頭もあります。京の冬の旅などの開催時に、拝観ができる塔頭もあります。地図を見て面白いのは、塔頭のひとつ、菰蓬庵は間に紫野高校があつて、ほかの塔頭とは飛び地になっていることです。古い地図をみると寺域はもっと広く、明治以後の市街地化で、一部を公用地として提供したようです。

利休ゆかりの寺だけあつて、茶の湯文化とも縁が深く、多くの名僧を輩出し、日本の文化に多大な影響を与え続けてきた寺院と言えます。

大徳寺の土塀が切れるところで南北に交差するのは旧大宮通で、大徳寺道とも呼ばれています。老舗の菓舗、大徳寺納豆の店、京料理店など、味わいのある街並みが続きます。その「筋東」に並行するのが新大宮通で、昭和初期の土地区画整理で出来ました。この交差点にあるの

停留場付近は商店街があつて賑わつてい



大徳寺前」の停留場です。寺院名の停留場名は、ほかに「念願寺前」「銀閣寺道」「泉涌寺道」「東福寺」などがあり、さすが京都と感じさせる停留場です。新大宮通は、北大路通から北山通にかけて、お買い物街として賑わいを見せていました。停留場前には、この付近では珍しいパチンコ店もあり、かつては付近に芝居小屋まであつたと言いますから、その賑わいの様子は、ちよつと西陣のような雰囲気だったのでしょうか。この芝居小屋は久栄座と言ひ、のちに映画館、ストリップ劇場に姿を変えて、市電時代の直前に閉館しました。

いまも「帯」は新大宮商店街となり、両側に歩道を持つ、京都ではいちばん長い商店街が形成されています。

酒屋で生きて 生かされて



第百十話の⑤ 10月9日新装 辛抱の辛抱

開店初の休業
日、その前日

祖母の住む 吉田の家「に立ち寄り 祝
いで華と賑取りを買った。その翌日祖母
の死の報でシマッタ息だ 前号の続)

父の代、商売上の失敗で、一回
の会社整理をした。私も参加して
何とか、現在地と数軒の借家を守
り切った。そして私は、父が創り、
東京の会社に売った会社 現在地
向かいの 大黒湯 入口に有った酒屋
を買戻し、酒屋を現在地に戻し、
10月1日〜5日まで、大特売をし
た。祖母が来たが喋る間も無かった
ので、やつと落ち着いた祖母の住む
吉田(天理教聖地分教念)へ行っ

祖母はその教会の会長で、翌日
宇治市の部下教会の「大祭」にお
参りすることを知って居り 気を
付けて行きな」と声を残して七条
の店に戻った。開店の売出も終り
一段落した10日、ごろんとして
居る時「おばあちゃん死んだ！」
と電話が入った。昨日の今日で、
エッ！と驚いた。

状況を聞くと、宇治の教会での
大祭が終り、上級会長の祖母がご
参拝方々に「お札」の言葉を告げ
る席に座り、「ご参拝の皆さま本
日はご苦労さんでした」と頭を下
げ、その頭を上げること亡くなっ
た」と知る。祖父の後引き継いだ
父が一度商売に失敗し、他人の手

に渡りそうになった元々の場所、
元々の「酒屋」を復活させたので
ホツと気が緩んだのでは・・・と
シマッタ！と思った。赤子の時か
ら母は居ず(父と結婚せず別れおばあ
ちゃんの出ない乳房)を吸って
育った私。祖母は母であった。
長じて弟妹達の母と、私の間に
「ギクシヤク」した時も、「辛抱
をおしや、辛抱の木には必ず綺麗
な花が咲く」といつも慰め、励ま
してくれた。その孫が、祖父と自
分できりあげた店を他人に渡す
こと「店」を立ち上げたので、ス
と「瞬気が緩んだのかも知れない。
どんな時でも、驚かず騒がしい
祖母だった。今年その祖母と同じ
歳になった。マダ、老眼鏡無しで
パソコンが打てる。ご迷惑でも
「とんからりん」はマダ続く。

木々の緑も伸
び、木漏れ日
がまぶしい季節
になりました。
この時期は気
候もよろしく、
陽だまりにつ
まれると心まであたたかくなるもの
です。

陽だまりに つまれて

額 史子
Fuhiko Kouketu



ウクレレとギターでア
コースティックな音楽を
発信しているフラー
パッドが、2011年に
KBS京都ラジオから
依頼を受け、交通情報と天気予報の
コーナーの音楽を制作しました。開局の
周年に合わせて、コーナーテーマ曲を
更新することとなり、京都出身である
フラーパッドに白羽の矢があつた
のです。歌のないインストゥルメンタル
音楽が、言葉ののせる情報コーナーのB
GMとしてふさわしいということも、フ
ラーパッドが選ばれた理由の一つで
した。

依頼を受けてから音楽を制作する
ことを書き下ろしと呼びます。その
ためだけに新しい曲を書き、レコー
ディングをして「一つの音源を作りま

す。一つの音楽を決めるのに、十曲以
上の曲を作りました。ラジオ局の希
望やご意向を取り入れながら、それ
ぞれのコーナーにふさわしい雰囲気
を作るといふことは、同時のフラー
パッドには初めてのこと。しかも短
間では何十曲という曲を作曲するとい
うことは、精神的にも体力的にと
も負荷の多いことで、当時の二人には
とても大変な作業でした。

端午の節 月三天

中国と日



在に至るかという
こうです。

「いいじゃないかそれで」
と言われる方もいます。節
句が、忘れてはいけません。節
句・節季・陰陽五行・干支・寺
社仏閣などなどの文化や風習は、
中国から伝来しているものが多
いといふことを。しかも端午の
節句は中国の政治家屈原を供養
するための日であるといふこと
を。

本は、とんと昔から関係が深い
です。現代日本に根づく五行し
かり、干支しかり、節句しかり
はたまた寺社仏閣しかり。あら
ゆる物事が、大陸から伝わり、
今もなお身近に存在しています。
驚きの事実を知ったのは、気
晴らしに端午の節句の由来を調
べた時。そもその節句、事
の始まりが中国周時代 紀元前
一〇四六年(紀元前二五六年)
の政治家屈原(くわげん)を供
養するために始めたこと書いてあ
るではありませんか。調べてみ
ると、裏切りを見破って訴えた
が聞き入れられず、楚の将来に
絶望して入水自殺したと、考え
この事実がどうひん曲がって現

年)に日本に伝わり、邪気払い
のために菖蒲や蓬を軒に垂らす
ようになりました。この風習が
変化して現代でも粽・柏餅を食
べたり、菖蒲湯に浸かったりす
る日になっていきます。こま
は、たいして疑問を持ちません
でした。前にも書きましたよう
に、小豆は邪気を払うとされて
いますから、亡者の弔いの日に
は食べるのに越したことは無い
でしょう。しかし問題はここか
らです。

様々を知ることができるよう
になった現代。そして、国際色
の由来を知ることとはとても大切
になっていくのかもしれない。
日本というのには元を正すと農
耕民族です。端午ははじめ、午
五月の「初夏」。この日に何
かを飾るなら、美しくて壮大な
花や絵画などがいいのかもしれ
ませんね。おしまい

江戸時代以降端午の節句は男
子の節句」とされ、武家では甲
冑・幟を飾り、商人は武者人形
や刀を飾って幟を立てるよう

編後記
▽前の名前
成7年5月。途中何度か出せな
い月には有ったが名を「とんから
ん」にして通算200号になった。
どの程度お読みか判らんが...

▽高校時代、新聞記者になりた
いと思つたが、頭に程度が低く入
部出来ず、写真部だった。
それで、鉄道写真家高橋さんと
知り合う「鉄ちゃん」のはしり。
▽大学に入ったが「破防法反対」
で左翼に。社研グループを組ん
だり、地域でも政治活動をした。
親友たちも共に。水害救援にも
行った。

▽当時は、ボランティア等のハイカ
ラな名前もなく「水害救援隊」だ
つた。和歌山の貴志川町。
今はたま駅長で有名な所へ
その最中、南山城大水害が起つ
た。8月15日だった。
▽直ぐに戻つて、井手町に入った。
町道9号線が堤防の上にあり堤
防を切断出来なため。大久保
に米軍基地が有った為だろ。

▽水害救援が落着いたころ、組
織の命令で井手町木津川堤防
に住み、活動を命じられた。小
屋に大きな旗を掲げた。ガリ
版で新聞まがいのビラを作った。
▽その頃の経験が「とんからりん」
に繋がっている。店が上手く行か
なくなり、呼び戻され、債権者
団から私の参加が支援条件で、
組織に申し出て、酒屋に従事し
た。

▽後、組織内で大きな動きがあつ
て、其処から離れた。だが損得
抜きで、する仕事の心地良さは
今も僅かは残っていると思つて
いる。今のボランティアさんも多分
同じだろ。